

萌黄 (もえぎ) 通信



みなさん、お元気ですか？ 梅雨は早く明けたのに、天気の良くない日が続きますね。おかげで、外の仕事は、涼しくて助かっていますが・・・。

夏休みに入ったせいか、いつもより、登りの高速の渋滞が激しいです。最近は一時間早く出かけている堀内貢次です。そのせいか夜の10時を過ぎると眠くて仕方ないです。でも、渋滞でイライラするよりも安全なのでこの1ヶ月間は早起きしようと頑張っています。

「寅さんの関連帝釈天」

先日、葛飾区の金町で仕事があり、早く着きすぎたので、周辺を車で走らせていると、「帝釈天前」という交差点に出くわしました。「男はつらいよ」はとっくに終わってしまっているのに、一度は、寅さんにまつわる帝釈天に行ってみた

かと思っていたので、思わず参道をふらふらと歩いてみました。柴又駅には寅さんの銅像があり、参道には映画と同じ「とらや」もあり、お団子まで食べました。短い時間でしたが、結構楽しいひとときを過ごすことができました。



「大理石の研磨施工(漏水によるエフロ発生)」

今月の石材メンテナンスは、マンションの9階なのにエフロが発生してしまい、大理石の表面がツヤボケしてしまった現場からです。

ガス給湯器の漏水によって玄関の敷石の裏に水が回って、一時は写真右上のようなエフロが発生してしまい石の表面のツヤが無くなりました。漏水問題が解決して、エフロの発生は無くなりましたが、大理石の表面のツヤは回復しないので、今回復元の依頼が来ました。

漏水が解決して、3カ月経っていて、石の裏面の水分も十分に乾燥しているので、施工するにはちょうど良い期間が経っていました。

まず、現調した時に一度、浸透性のコート剤を前処理に塗布し(施工日には、研磨で水を使用するので、出来るだけ石の裏面に水が入り込まないようにする為)、翌日以降に研磨施工

に入ります。今回エフロの影響以外に築年数も経っていたので、ダイヤの#500番から仕上げていきました。



施工前



漏水数日後のエフロ状態



研磨施工



施工後

「瞬間接着剤のシミの除去」

既存のキッチンカウンターを少し拡張するために茶色の大理石を上重ね一時的に瞬間接着剤を使用したのですが、それが後日、薄い緑色に変色してしまいました。今回は、いままでに施工した中でも一番大変で、2日間かけてやっと目立たなくなるまで持ってくる事が出来ました。シミ抜きをかける前に溶剤を塗布して、ノリの成分を柔らかくしたのが良かったようです。

⇒詳細はホームページトップにも載せました、ご覧ください。



(編集後記) 現在、葉山の病院で高校の同級生が、緊急入院中です。何十年も健康診断をせずに、動悸が激しく病院で診てもらったら心臓が壊死しているとの事で、緊急手術となったようです。皆様も毎年の健康診断は忘れずに！

萌黄通信 毎月1回発行

発行編集責任者 (株)ケイ・アンド・エス 堀内貢次

(東京出張所) 東京都港区浜松町1-1-10 5Fタスク内

(電話) 03-3431-1293 (Fax) 03-3431-7198

<http://www.e-kands.jp>

(メール) info@e-kands.jp